

令和 2 年 5 月 18 日

令和元年度政務活動のあらまし

自民・無所属・子ども未来
幹事長 大沢真一

品川区議会自民・無所属・子ども未来は 8 名の議員で結成された新しい会派で活動して、様々な政務活動をおこなってきました。

日頃の政務活動のなかで、区民の皆様から声をお聞きし、教育、医療、福祉、災害対策、行政改革まで、幅広い質疑をおこなってきました。また区内諸団体の皆様からご意見、ご要望をいただき「令和 2 年度へ向けた政策要望」の取りまとめをおこない、区長への政策要望を提出しました。

また定例会での代表質問、一般質問、予算・決算特別委員間での質疑等で、次年度に向けた政策提言等に反映し取り組みました。

令和 2 年度におきましても、新庁舎建設に向けた庁舎機能検討、区のオープンデータを活用した公式アプリ、キャッシュレス決済の拡大、コミュニティバスの導入、プログラミング教育の推進、子供家庭支援センターの組織化、コンテナ型屋外喫煙所の設置、避難所の対応強化、無電柱化の推進等、自民・無所属・子ども未来からの政策提言が各種事業に取り入れられ実現に向けた取り組みがおこなわれています。

調査研究として、8 月に埼玉県立嵐山郷を視察し、重症心身障害児者の施設運営上の問題点を調査、埼玉医科大学 NICU 難病センターでは、新生児集中治療施設を見学し、障害を有する子どもの NICU 退院後の対応について学び、12 月にかごしま環境未来館を訪問し研究を深めました。

今後も地域に密着し、区民のみなさんに、たくさんのご意見をいただき、施策の実現に向け取り組んでまいります。